

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成28年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立八代射撃場	所管課	教育委員会 スポーツ健康課
所在地	笛吹市八代町竹居大口山	設置年月日 (改築年月日等)	昭和59年4月1日
指定管理者	公益財団法人山梨県体育協会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立射撃場設置及び管理条例		
設置目的	射撃の普及振興を図り、もって県民の心身の健全な発達に寄与するため。		
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 約54,700㎡ ○施設の内容 ・管理事務所(鉄筋コンクリート2階建 253.67㎡) ・スモールボアライフル射場 1) 射場(地上1階・地下1階 807.96㎡ 26射座) 2) 監的壕(地下1階 146.88㎡) ・エアライフル射場 1) エアライフル射場(1階 849.76㎡ 39射座) 2) ビームライフル射場(1階 98.8㎡ 6射座) ・その他(駐車場 1,589.66㎡、便所2棟)		
主な業務内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	
---------------------	--

3 利用状況

単位：人、%

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (目標値)
利用者数	エアライフル	1,292	819	864	
	小口径ライフル	619	518	566	
	ビームライフル	588	745	745	
	利用者数合計	2,499	2,082	2,175	
	目標値	2,352	2,352	2,352	2,100
	目標値設定の考え方及びその理由	H26～:利用者の減少傾向を勘案し、収支計画における数値を目標値として設定 H27～H28:H26と同数値を設定 H29:現状の利用傾向を勘案			
対26年度比		83.3%	87.0%		
利用率	7人/日	6人/日	7人/日		

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成27年度	平成28年度 (計画値)	平成28年度 (実績値)	平成29年度 (計画値)
収入	施設利用料	960,667	988,000	1,007,556	858,000
	指定管理者委託料	5,491,000	5,522,000	5,522,000	5,681,000
	その他	100,481	37,000	42,765	35,000
	収入合計(A)	6,552,148	6,547,000	6,572,321	6,574,000
支出	人件費	4,124,316	4,332,000	4,162,683	4,365,000
	県への納付金				
	管理運営費	2,177,171	2,215,000	1,829,515	2,209,000
	うち外部委託費(B)	250,560	251,000	250,560	251,000
支出合計(C)	6,301,487	6,547,000	5,992,198	6,574,000	
収支差額(A-C)		250,661		580,123	
外部委託比率(B÷C)		4.0%	3.8%	4.2%	3.8%
利用者一人当たりの経費		2,637.4	2,347.8	2,538.9	2,705.2

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成28年4月～平成29年3月 実施方法:施設利用者へのアンケート 回答数:39人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
料金	69.2%	25.6%	2.6%	2.6%
スタッフの対応	97.4%	2.6%		
施設・設備の整備状態	43.6%	41.0%	10.3%	5.1%
施設全般の満足度	43.6%	51.2%	2.6%	2.6%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールボア射場の的を電子標的にしてほしい。 ・射場近くにあるトイレを整備してほしい。 ・施設が寒く、体が動かないため競技に支障が出てしまう。 ・射場入口の道路の段差をなくしてほしい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備改善については、県教育委員会に対して予算要望を行っていく。 ・職員の対応で改善できる事項については改善を図った。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務計画書どおり、適正に管理業務を実施した。 利用者が安全かつ快適に利用できるよう、場内の整理・清掃や定期的な草刈りを行うなど、良好な衛生環境・景観の維持・確保に努めた。	施設の維持管理については、事業報告書並びに現地確認の結果、適正に執行されている。 衛生環境の確保などについては、利用者の意見を参考に、引き続き創意工夫を図ること。
運営業務	業務計画書どおり、適正に管理業務を実施した。 個人利用回数券の発行や営業日・営業時間の拡充を継続し、利用促進に努めるとともに、防護策等の安全施設の日常点検を行い、事故防止に努めた。	施設運営については、事業報告書並びに現地確認の結果、適正に執行されている。 引き続き、利用者の安全確保を図るなど、事故防止に努め、適正に業務を行うこと。
利用状況	引き続き、学校の長期休暇期間(7月～9月及び3月)を無休営業にするとともに、個人利用回数券の発行など利用促進に努めたものの、神奈川県伊勢原射撃場の再開等により、県外の利用者が減少している。 そのような状況ではあるが、前年度の利用実績を93人上回った。	利用者数が減少傾向にあるなかで、前年度の利用実績を上回ったことは評価できる。 さらなる利用者数の確保に向け、合宿利用者に向けた広報活動など、利用促進に努めること。
収支状況	山梨県からの依頼により、PCBの使用確認を調査したため、計画以上に経費を要したが、予算の範囲内で執行することができた。また、その他の経費については利用料金収入が伸びないため、コスト意識を持ち経費の節減に努めた。	経費の節減を図りながら、必要な修繕を実施しており、適正な管理業務が実施されている。 引き続き、経費削減とともに利用促進に努めること。
自主事業	業務計画書に基づき、標的の販売や利用者感謝祭の開催など、利用者サービス・利用促進に努めた。	自主事業については、業務計画書どおりに業務が行われている。 引き続き、利用者サービスの向上に努め、利用促進を図ること。
利用者満足度	施設・設備の整備状態の満足度が昨年度より高い評価を得たが、利用者からは標的の改修やトイレの整備などの意見をいただいた。 職員の対応については、高い評価を得ることができた。古い施設・設備ではあるが、環境維持に努めた成果と考える。	引き続き、利用者ニーズを的確に把握し、サービスの向上に努めること。
運営目標の達成状況	利用者数は目標値2,352人に対し、2,175人の利用があり、達成率は92.5%と目標を下回った。 少子化等による射撃部員の減少や近県射撃場再開の影響が非常に大きい。また、電子標的でないことや、重量のある標的を利用者自らが設置しなければならぬことも利用率の低下に影響していると考えられる。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	業務計画書に基づき、適正に業務が執行されている。 今後も、利用者ニーズを把握しながら、良好な施設環境の維持をはじめとした管理運営業務に努め、積極的な広報活動など利用促進に取り組むこと。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	今後も、協定及び業務計画書等に基づき、施設の環境整備など適切な管理運営に努めていく。 また、利用者ニーズを把握して管理運営業務に反映させるとともに、利用者数の減少が少しでも抑えられるように、県内はもちろんのこと関東近県の学校などにパンフレット等を送付するなど積極的な広報を図っていく。	

7 管理体制(組織図)

平成28年4月1日現在



所長(兼務)	1 人
嘱託員	2 人
合計	3 人